

近畿圏広域計画検討会議 第8回幹事会

1. 開催日時：平成 19 年 10 月 12 日（金） 14:00～16:00

2. 場 所：大阪合同庁舎 1 号館 第 1 別館 2 階 大会議室

3. 出席者：別紙参照

4. 議事要旨

（1）「第 3 回近畿圏広域計画検討会議」資料及び進め方について

- ・ 第 3 回近畿圏広域計画検討会議では、資料 2 を意見交換するためのたたき台として配付し、これを参考に議論していただく。

（2）「目指す姿」、「戦略」、「主要事業・制度」について

〈各機関から出た意見等〉

○目指す姿について（資料 1）

◇全般

- ・ 「関西」と「近畿」の表現については最終的に統一する。
- ・ 目指す姿の文頭に、地域の総力を結集して目指す旨の記述をすべき。

◇「1. 歴史文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域」

- ・ 日本文化の象徴圏域（文化首都）に関する記述をすべき。
- ・ 景観を保全するという視点が抜けている気がするので記述すべき。

◇「2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核」

- ・ もう 1 つの中心核の要素として、経済だけでなく、文化や対アジアなど多様な関西の強みを記載すべき。
- ・ 隣接県への広がりや他圏域との連携についても記述すべき。

◇「3. アジアをリードする世界に冠たる産業創造・交流拠点」

- ・ 人材面について、交流だけでなく質の高い人材育成・創造の視点も必要。
- ・ 近畿圏がアジア・ゲートウェイを担う圏域であることを明確にすべき。

○「戦略」「主要事業・制度」について（資料 2）

〈各機関から出た意見等〉

◇全般

- ・ 資料 2 は、例示・アイデア集として取り扱いしてほしい。

◇「2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核」

- ・ バックアップそのものの戦略も書くべき。
- ・ 隣接する圏域との連携を 1 つの戦略として独立させるべき。

◇「4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進地域」

- ・ 都市近郊だけでなく、森林整備、農山漁村の環境についてももう少し記載すべき。

◇「５．都市と自然を日常的に享受できる圏域」

- ・ 循環型社会について、食品残渣だけでなく、京都のＢＤＦや堺のバイオエタノールの取組も記載してほしい。
- ・ 農村インフラの整備、一次産品を活用した産業育成の記述も必要。

◇「７．暮らし・産業を支える災害に強い安心・安全圏域」

- ・ 土地利用の規制・誘導など予防的な災害に強い圏域構造、都市構造の記述が必要。
- ・ 津波発生時のアジア地域への情報提供については、既に国際的な枠組みの中で実施されており、更なる情報の提供は混乱を招く恐れがあるので、現時点においては削除すべき。
- ・ 今の段階で京阪神都市圏に限定した表現とせず、周辺地域等を含めた近畿圏全域を想定できる記述で表現すべき。

(３) その他

第３回検討会議について、記者発表を予定しているので協力をお願いします。